

評価会議（平成30年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A委員	B委員	C委員	
支援の内容および効果等	協議会の取組 (イメージ)	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	3
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	4	3
		(3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	4	3
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 (配点5点)	—	—	—
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	3	4	3
		(2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	—	—	—
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	—	—	—
	策（取組）	今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等 (配点5点)	4	4	3

(※) 事業者等において、取組の提案等の記載がなかった項目については、委員評価の対象外のため「—」となっています。

主な意見等

支援の内容および効果等

- ・区直営の体制が機能してきているように見受けられました。
- ・地域づくりアドバイザーは、地域担当を設けずニーズに応じた支援を行っているとのことですが、まちづくりのような息の長い支援業務においては、モチベーション維持のためにも、3人がローテーションで「伴走型支援」をしてみるなど、情報共有しながら「全体的支援」との共存も検討してみてください。

自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）

(1) 「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

- ・元気な地域が引っ張り、新たな活動が見られるようになった。

(2) 「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

- ・一定の成果はでていますが、若手など新たな人材の確保やNPO・企業等との連携をより充実させたい。
- ・アドバイザー雇用型の体制で、支援がピンポイントの取り組みとなる傾向があり、地域との関わり方に課題が生じていないかなど、検証を行いながら有効な支援のあり方を検討していく必要がある。

(3) 「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

- ・地活協への若い世代や多セクターの関わりを可能にする、多方面からのアプローチが望まれる。

事業の実施体制等

(2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等

- ・地域に出向いて、生の声、本音の声を拾って欲しい。

今年度の重点支援策（取組）

- ・重点取組に関しては一定の効果があがっている。

【参考】受託事業者等の分析に対する意見

- ・担い手の減少が課題とされていることに対して、支援のあり方は有効であるかなど、役員以外の地域の声を吸い上げて、検証を行う必要があるのではないかな。

支援方針・戦略の内容

- ・区役所とアドバイザーが有効な役割分担をするには、課題や目標を共有し信頼関係を築くプロセスが重要ではないかな。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。